カタリーナ・ブルームの失われた名誉（1975）

DIE VERLORENE EHRE DER KATHARINA BLUM

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 西ドイツ
時間 106分
初公開日 不明

【解説】

夫婦ともにドイツを代表する監督として知られるシュレンドルフとフォン・トロッタの二人が共同でメガホンを取り、地味な題材ながら本国では記録的なヒットをした作品。「情事の報酬」という“そりゃないだろう”的邦題がついてビデオ化されている。仮装舞踏会で知り合い一夜を共に過ごした若者が、過激派の銀行ギャング犯だったことから、機動隊に自室に踏み込まれ拘束されたカタリーナ。男はすでに行方をくらまし、彼女だけが苛酷な取り調べを受け、マスコミの誹謗中傷の対象となり、前夫や母についてもあれこれ書きたてられる。母は強引な記者の取材に倒れ、怒った彼女がその記者を撃ち殺すと、今度は記者が殉教者として祭り上げられる……。マスコミの暴力を描いた、ノーベル賞作家ベルの原作を的確にシナリオ化、主演のヴィンクラー（「ブリキの太鼓」の母親役）も素晴らしく、撮影のニクヴィストもよい仕事をしている。

【クレジット】

監督	フォルカー・シュレンドルフ	Volker Schlondorff
	マルガレーテ・フォン・トロッタ	Margarethe von Trotta
原作	ハインリッヒ・ベル	Heinrich Böll
脚本	フォルカー・シュレンドルフ	Volker Schlondorff
	マルガレーテ・フォン・トロッタ	Margarethe von Trotta
撮影	スヴェン・ニクヴィスト	Sven Nykvist
音楽	ハンス・ヴェルナー・ヘンツェ	Hans Werner Henze
出演	アンゲラ・ヴィンクラー	Angela Winkler
	ユルゲン・プロフノウ	Jurgen Prochnow
	ディーター・ラーザー	Dieter Laser
	ハインツ・ベネント	Heinz Bennent
	マリオ・アドルフ	Mario Adorf

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.